

1 市町名 草加市

2 課題をもとにした仮説

- ・「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を基に学習の流れを明らかにし、児童生徒が学習の見通しをもった授業を1時間1時間積み重ねることを通して、児童生徒が基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得をはじめ、思考力・判断力・表現力の育成や、主体的に学習に取り組む態度の育成を図ることができるであろう。
- ・各種学力・学習状況調査の分析を各校の学力向上プランの改善に生かし、実態に即した具体的な方策を考え実践することで、授業の質を高めることができるであろう。

3 効果的な取組の例

(1) 市町教育委員会における主な取組例

① 具体的な取組例

○ 「学力向上対策研修会」の充実

- ・ 県学力・学習状況調査活用法研修会—結果返却直前の研修—
帳票の見方や分析の仕方についての講義を毎年継続して行った。特に、帳票42を活用した学力を伸ばしている学級の担任や担当からの聞き取りなど、帳票を活用した具体的な取組事例について周知した。
- ・ 県及び全国学力・学習状況調査結果に関する研修会—分析後の研修—
管理職及び学力向上担当教員対象に本市の学力・学習状況について周知するとともに、授業改善の方策について指導を行った。さらに、教科別の研修会も開催し、各調査の分析や活用について教科に焦点を当てて協議を行った。
- ・ 「コバトンのびのびシート」活用を促す研修会及び実践報告
マトリクスシートを活用した「コバトンのびのびシート」の活用方法を協議する研修や、オンラインによる重点校の実践報告を行い活用の促進を図った。



学力の伸びから中2にターゲットを絞り協議



【思考ツールを活用した協議】
「コバトンのびのびシート」の具体的な取組



【オンラインによる学力向上対策研修会】
重点校での「コバトンのびのびシート」活用報告

②取組の成果と課題

- ・「草加っ子の学びを支える授業の5か条」については、教職員に浸透している。継続して授業改善を図るための取組として指導していく。
- ・各学校の課題に応じた支援を実施していく。

(2) 重点校における主な取組例

①具体的な取組例

○学習指導に関する取組の共有・共通理解

- ・県学力・学習状況調査の分析結果から、児童の課題に応じた指導を全学級で実施した。

- ①「両小スタンダード」による授業実践
(国語・算数の授業の流れ)
- ②「家庭学習の手引き」の作成・配布
- ③「自主学習の進め方」の作成・配布
(自主学習のねらいやノートの使い方等明記)
- ④中学校区での授業の約束の統一

- ・「コバトンのびのびシート」をファイリングし、教職員がいつでも見ることが出来る場所に保管することで、全体で情報を共有した。また、次年度への引継資料として活用した。

- ・学力を大きく伸ばした学級の担任による授業実践を動画やミニ研修会において全体で共有した。

両小スタンダード 算数」時間の流れ

両新田小学校 家庭学習(宿題+自主学習)の手引き

②取組の成果と課題

- ・良い授業の共有や授業の進め方の統一により、自らの指導を振り返り、改善点を明らかにすることができた。
- ・全児童に学力の伸びがみられるよう個に応じた指導を継続していく。